

*進捗状況：100%:実現、75%:実現に向け実行中、50%:実現に向け計画中、25%:調査中、0%:動きなし

大分類	取り組みテーマ	テーマに対する取り組み内容	進捗状況
安心なまちづくり  「子育て支援、福祉施策の推進」	○安心して子育てできる環境の整備	(1) 給食費支援（半額補助）の継続 (新 規)	50%
		(2) 公立保育園の適正化の推進 (新 規)	50%
	○福祉・医療体制の充実	(3) 医療・福祉の連携強化	50%
		(4) 赤羽根診療所の運営の充実	75%
快適なまちづくり  「安全に過ごすことができる環境の整備」	○交通環境の整備推進	(5) 生活道路・通学路の整備	50%
		(6) 幹線道路の整備・要望活動の推進	50%
	○防犯活動・防災対策の整備充実	(7) 防災意識の向上活動の推進	75%
		(8) 地域防災力向上を図る取り組み推進	50%
元気なまちづくり  「生き生きと暮らせる環境づくり」	○スポーツ活動の振興と環境整備推進	(9) スポーツができる環境の整備推進	50%
		(10) 中央公園の整備推進	50%
	○観光地域づくりの推進	(11) 新たな観光資源の活用推進	50%
		(12) サイクルツーリズムの推進	50%

取り組み内容の詳細

(1) 給食費補助の継続化

- ・子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、給食費の負担軽減として、令和 7 年度より給食費の半額支援に拡充されたので、この支援の継続を進めていく。

(2) 適正な集団保育規模の適正化

- ・少子化の進行、低地に立地する保育園、保育園の老朽化により、保育園の適正化が進められ、令和 11 年度までに田原市内 8 園の保育園 ➡ 4 保育園に統合されるため、保護者や市民の意見等を把握し課題解決を進めていく。

(3) 医療・福祉の連携の強化

- ・地域包括ケアシステム実現のため、保険・医療・福祉（介護）の連携を進め、介護と医療の切れ目のないサービスの提供、高齢者が安心して自宅で療養できる体制づくりの推進に議会として協力をしていく。

(4) 赤羽根診療所の運営の充実

- ・運営の安定をはかるため、増加した利用者や受診者数の維持を図る取り組みを進める。

(5) 生活道路・通学路の整備

- ・各コミュニティ協議会から提言のあった通学路等での危険箇所の内容を精査し、早期対応を図る体制づくりや安全で安心できる通学路の整備の取り組みを進める。

(6) 幹線道路の整備・要望活動の推進

- ・県、東三河、地域、民間企業一体となった取り組みの推進が重要であるため定期的な道路対応の推進や臨海企業懇話会として要望活動（豊橋渥美線臨港道路、23 号バイパスの早期開通・四車線化）の継続や推進を働きかける。

(7) 防犯意識の向上活動の推進

- ・青バトや地域見守りネットワーク、各種団体と連携した防犯活動や市民の防犯意識の向上、地域の見守り活動の拡充の提案や犯罪被害の防止を図る取り組みを進めるように働きかける。

(8) 地域防災力向上を図る取り組み推進

- ・防災訓練、防災カレッジ、ほーもん講座、子ども防災教室等を実施しているが、より実践的な内容を取り入れた訓練や講習会をおこない防災・減災意識の高揚を図ることを継続して呼び掛けていく。

(9) スポーツができる環境の整備推進

- ・小中学校の統廃合により、使用していない体育館やグラウンド等の有効活用の検討の進捗を把握し、整備推進が図られているかの確認を進める。

(10) 中央公園の整備推進

- ・中央公園の長期的なビジョンを明確にするように提案等を進める。

(11) 新たな観光資源の活用推進

- ・新たな観光資源である「みなとオアシス伊良湖」を活用した取り組みの推進について提案等を進める。
- ・地域資源を活用した着地型体験のプログラムを活用し観光推進につなげるように提案等を進める。

(12) サイクルツーリズムの推進

- ・安全対策など自転車ネットワーク整備を進め環境整備を図り、サイクリストが訪れたいようなに地域を目指すため、国内外のサイクリストが満足できるルートにし、サイクルツーリズムの推進につながる取り組みの後押しを進める。

ひらまつあきのり
平松昭徳が掲げる主な公約と進捗状況

田原市議会議員
平 松 昭 徳
2025 年 10 月

*進捗状況：100%:実現、75%:実現に向け実行中、50%:実現に向け計画中、25%:調査中、0%:動きなし
（*赤字は進捗UP）

大分類	取り組みテーマ	テーマに対する取り組み内容	進捗状況
安心なまちづくり  「子育て支援、福祉施策の推進」	○安心して子育てできる環境の整備	(1) <u>給食費補助の継続化（新規）</u> （給食費物価高騰分の補助）	50%
		(2) <u>適正な集団保育規模の確保（新規）</u>	50%
	○福祉・医療体制の充実	(3) 医療・福祉の連携強化	75%
		(4) 赤羽根診療所の運営の充実	50%
快適なまちづくり  「安全に過ごすことができる環境の整備」	○交通環境の整備推進	(5) 生活道路・通学路の整備	50%
		(6) 幹線道路の整備・要望活動の推進	50%
	○防犯活動・防災対策の整備充実	(7) 防犯意識の向上活動の推進	50%
		(8) 地域防災力向上を図る取組推進	75%
元気なまちづくり  「生き生きと暮らせる環境づくり」	○スポーツ活動の振興と環境整備推進	(9) スポーツができる環境の整備推進	50%
		(10) 中央公園の整備推進	50%
	○観光地域づくりの推進	(11) 新たな観光資源の活用推進	75%
		(12) サイクルツーリズムの推進	50%

取り組み内容の振り返りと次期取り上げテーマ

*進捗状況：100%:実現、75%:実現に向け実行中、50%:実現に向け計画中、25%:調査中、0%:動きなし

今期のテーマに対する取り組み内容の振り返り	次期の取り上げテーマ（継続 or 新規）	進捗状況
1) 子育て世帯の経済的負担の軽減を図り子育てしやすい環境を整備するため、令和 7 年度より小中学校の給食費の半額を市が支援をするようになった。	【新規】 ○給食費支援（半額補助）の継続 ・給食費の半額支援を継続する。	50%
2) 令和 11 年度までに、市内 8 か所の公立保育園を 4 保育園に統合を進めることが決定された。	【新規】 ○公立保育園の適正化の推進 ・統合をスムーズに進めるため、保護者や市民の意見を反映する。	50%
3) 地域包括ケアシステム実現のため、保険・医療・福祉（介護）の連携を推進し、疾病予防からケアに至るまでの取り組みが徐々に進んできた。	【継続】 ○医療・福祉の連携の強化 ・更なる保険、医療、福祉（介護）の連携の推進を図る。	50%
4) 赤羽根診療所は、一般診療だけでなく、予防接種、各種検診、発熱外来はじめ、在宅当番医もっており、受診する人が増え、地域の医療機関として定着してきた。	【継続】 ○赤羽根診療所の運営の充実 ・運営の安定をはかるため増加した利用者や受診者数の維持。	75%
5) 洗い出された小学校や中学生の通学路の危険箇所は撲滅には至っていないが、補修や整備が進んできた。	【継続】 ○生活道路・通学路の整備 ・危険箇所の早期発見や対応できる体制づくりの推進を図る。	50%
6) 浜松・三ヶ日・豊橋道路のルートも決まったことから、終点をいかに田原よりに持ってくるかの議論が始まった。	【継続】 ○幹線道路の整備・要望活動の推進 ・県、東三河、地域、民間企業一体となった取組の推進を図る。	50%
7) 青パトによる地域巡回が行われ犯罪件数は減少傾向だが、無施錠による侵入盗や自転車盗、車上狙いが発生しており、防犯意識の向上のための啓発活動が進められた。	【継続】 ○防犯意識の向上活動の推進 ・犯罪防止のため地域の見守り活動の推進を図る。	75%
8) 津波避難施設の整備が進められ避難困難地域の解消が図られ防災訓練等が行われているが、まだまだ市民の意識は高いと言えない。	【継続】 ○地域防災力向上を図る取り組み推進 ・更なる防災、減災意識の向上を図る取り組みを推進する。	50%
9) 小中学校の統廃合による空いた公共施設（運動場や体育館等）の有効利用の検討が進められた。	【継続】 ○スポーツができる環境の整備推進 ・施設の維持管理だけでなく、新たな場の検討を進める。	50%
10) 中央公園については、民間活力の導入を視野に入れた新たな利活用の検討が進められたが大きな動きがない。	【継続】 ○中央公園の整備促進 ・市民からの意見を踏まえた内容を検討し提案を進める。	50%
11) 新たな賑わいの創出を目指すため伊良湖周辺を「みなとオアシス伊良湖」として登録をした。（令和 7 年 9 月～）	【継続】 ○新たな観光資源の活用推進 ・「みなとオアシス伊良湖」を活用した取組み推進を図る。	50%
12) 市内に来訪するサイクリストの利便性向上を図るため、サイクルバス（バスに載せ移動）実証実験を開始した。	【継続】 ○サイクルツーリズムの推進 ・サイクリスト受入れ環境の整備、自転車を活用した観光を広める。	50%